
jQuery プラグイン 逆引きハンドブック

古籾 一浩 ◆ 著

Webサイトに文字・画像のエフェクト表現、
地図やQRコードの表示など手練れの技を
簡単に利用できる**プラグイン活用術**を解説!

Web制作に 役立つ1冊!

約120個の
プラグインを
掲載!

 24時間無料でサンプルデータをダウンロードできます。

 C&R研究所

jQuery

プラグイン

逆引きハンドブック

古簾 一浩 ◆ 著

■権利について

- 本書に記述されている社名・製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本書では™、©、®は割愛しています。

■本書の内容について

- 本書は著者・編集者が実際に操作した結果を慎重に検討し、著述・編集しています。ただし、本書の記述内容に関わる運用結果にまつわるあらゆる損害・障害につきましては、責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本書で紹介しているコードの実行結果の画面などは、環境によって異なる場合がございますので、あらかじめ、ご了承ください。
- 本書の内容は、2014年11月現在の情報を基に記述しています。仕様の変更やブラウザのバージョンアップなどにより、サンプルの動作が変わったり、プログラムの書き換えが必要になったり、動作しなくなったりする場合があります。また、紹介しているURLなども変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

■サンプルについて

- 本書で紹介しているサンプルは、C&R研究所のホームページ(<http://www.c-r.com>)からダウンロードすることができます。ダウンロード方法については、5ページを参照してください。
- サンプルデータの動作などについては、著者・編集者が慎重に確認しております。ただし、サンプルデータの運用結果にまつわるあらゆる損害・障害につきましては、責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- サンプルデータの著作権は、著者及びC&R研究所が所有します。許可なく配布・販売することは強く禁止します。

●本書の内容についてのお問い合わせについて

この度はC&R研究所の書籍をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書の内容に関するお問い合わせは、「書名」「該当するページ番号」「返信先」を必ず明記の上、C&R研究所のホームページ(<http://www.c-r.com/>)の右上の「お問い合わせ」をクリックし、専用フォームからお送りいただくか、FAXまたは郵送で次の宛先までお送りください。お電話でのお問い合わせや本書の内容とは直接的に関係のない事柄に関するご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

〒950-3122 新潟県新潟市北区西名目所4083-6 株式会社 C&R研究所 編集部
FAX 025-258-2801
『jQueryプラグイン逆引きハンドブック』サポート係

III PROLOGUE

Webサイト制作において欠かせないのがjQueryライブラリです。jQueryはブラウザの違いを超えて簡単にアニメーションやDOM操作が行えることから、多くのWebサイトで使用されています。Webページの要素を手軽に処理するだけならば、jQueryライブラリである必要はありません。jQueryがここまで多く使用されるのは、jQueryプラグインの存在があります。jQueryプラグインを使用することで手軽に好みの処理を追加することができます。

jQueryプラグインは公式サイトで確認できるプラグインだけでも2600以上あります(2014年11月時点)。公式サイトにないプラグインも多数ありますから、jQueryプラグインは相当な数になります。ここまで数が多いと、jQueryで自分で作らなくても目的の処理を行うプラグインを探した方が早いこともあります。jQueryプラグインは非常に数が多いため、すべてを紹介することはできませんし、主要なプラグインだけでもかなりの数になります。本書では古いプラグインから新しいプラグインまでカテゴリ別に掲載しています。なお、2014年11月時点で動作するプラグインを対象としています。

jQueryプラグインはjQueryライブラリに依存しているため、jQueryライブラリのバージョンアップによって動作しなくなることもあります。特にjQuery 1.x系と2.x系ではブラウザへの対応やメソッドの違いなどから、新しいバージョンに対応していないプラグインは正常に動作しないことがあります。掲載しているプラグインのほとんどはバージョン2.xで動作するものです。

本書は、もともと、拙著『jQuery+jQuery UI+jQuery Mobile逆引きハンドブック』(C&R 研究所刊、ISBN978-4-86354-149-8)の内容とあわせて1冊の予定でしたが、ページ数の都合により別の本として出版されることになりました。2冊で1つの本ですので、両方の書籍を手元において参照してもらえばよいかと思います。また、『jQuery+jQuery UI+jQuery Mobile 逆引きハンドブック』ではjQueryプラグインの作り方掲載しています。

なお、本書に掲載しているプラグインの実際の動作を簡単に確認できるように、筆者のWebサイトにサムネール付きのサンプルページを用意しました(6ページ参照)。本書とあわせて、ご活用ください。

● 掲載プラグイン一覧

URL <http://www.openspc2.org/book/jqplugin/>

本書がWeb制作の手助けになれば幸いです。

2014年11月

古旗一浩

本書について

動作確認の環境について

本書ではWindows 7+Google Chrome、OS X(Mac OS X)+Google Chromeで動作を確認しています。動作するブラウザに関しては、jQueryが対応している種類とバージョンになります。

プラグインによってはローカル環境では動作しないものがあります。非同期通信(Ajax)を使っているプラグインが該当します。画像のスライドショーや遅延読み込み処理などは非同期通信を使っていることがあるため、サーバー環境で動作させる必要があります(ローカルサーバーで動作確認することはできます)。また、本書に掲載しているサンプルはサーバー上にファイルが存在することが前提になっています。このため、サンプルをローカル環境で動作させようとした場合、正常に動作しないことがあります。

なお、プラグインはバージョンアップによって仕様がかわってしまうことがあります。本書掲載のプラグインはバージョンを表記していますが、今後のバージョンアップによって動作しなくなる可能性もあります。また、プラグインの配布元ページがなくなってしまう、プラグインの入手ができなくなってしまうこともあります。あらかじめ、ご了承ください。

CDN(Contents Delivery Network / コンテンツデリバリーネットワーク)について

本書に掲載されているサンプルはCDNを利用しています。このため、オフライン環境では正常に動作しないことがあります。ネットワークが利用できることが最低条件になります。また、非同期通信を使ったサンプルはローカル環境では動作せず、サーバーにファイルをアップロードする必要があります。

また、CDNを利用する際にプロトコルで次のようにhttpを指定しています。

```
<script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.0/jquery.min.js"></script>
```

httpだけでなくhttpsが混在するサイトの場合、次のように「http:」部分を削除して利用してください。

```
<script src="//ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.0/jquery.min.js"></script>
```

III 本書の表記方法

本書の表記についての注意点は、次のようになります。

▶ サンプルコードの中の▼について

本書に記載したサンプルコードは、誌面の都合上、1つのサンプルコードがページをまたがって記載されていることがあります。その場合は▼の記号で、1つのコードであることを表しています。

▶ プラグインのバージョン、URLについて

本書では項目のタイトル部分に、プラグイン名、プラグインのバージョン、URLを記載しています。ただし、バージョンやURLは2014年11月現在のもので、変更もしくはページがなくなる可能性があります。あらかじめ、ご了承ください。

01
02
03
04
CHAPTER 05

SECTION-051

水面に波紋を広げる効果を施す

プラグイン名	jQuery Ripples
プラグインのバージョン	0.1.0
URL	http://sixemic.github.io/jquery.ripples/

ここでは、水面に波紋を広げる効果を施すプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE

HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
  <meta charset="utf-8">
  <title>Sample</title>
```

III サンプルファイルのダウンロードについて

本書のサンプルデータは、C&R研究所のホームページからダウンロードすることができます。本書のサンプルを入手するには、次のように操作します。

- ① 「<http://www.c-r.com/>」にアクセスします。
- ② トップページ左上の「商品検索」欄に「161-0」と入力し、[検索]ボタンをクリックします。
- ③ 検索結果が表示されるので、本書の書名のリンクをクリックします。
- ④ 書籍詳細ページが表示されるので、[サンプルデータダウンロード]ボタンをクリックします。
- ⑤ 下記の「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、ダウンロードページにアクセスします。
- ⑥ 「サンプルデータ」のリンク先のファイルをダウンロードし、保存します。

サンプルのダウンロードに必要な
ユーザー名とパスワード

ユーザー名 **jQpin**
パスワード **f8zk7**

※ユーザー名・パスワードは、半角英数字で入力してください。また、「J」と「j」や「K」と「k」などの大文字と小文字の違いもありますので、よく確認して入力してください。

III サンプルコードの利用方法

サンプルファイルは、CHAPTERごとのフォルダの中に、項目番号のフォルダに分かれています。サンプルはZIP形式で圧縮してありますので、解凍してお使いください。

それぞれのフォルダ内には、HTMLファイルやJavaScriptファイル、CSSファイル、画像ファイルなどが保存されています。

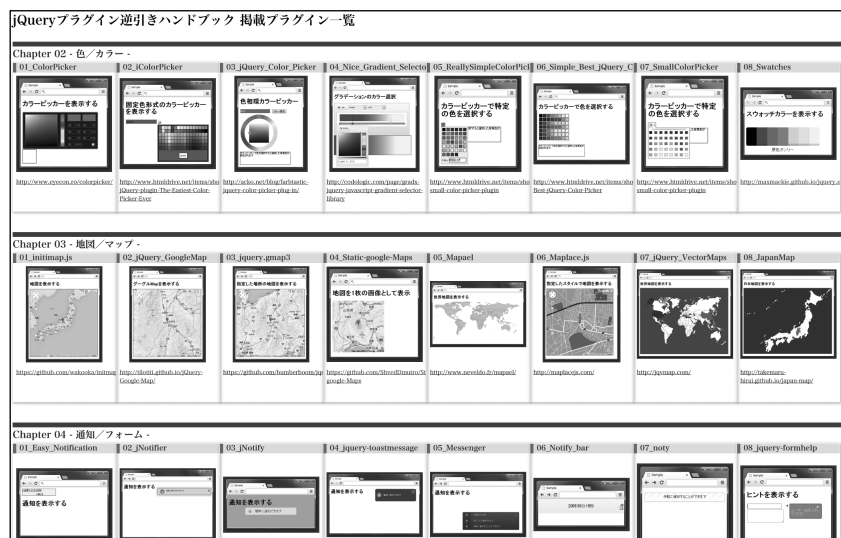
なお、サンプルはネットワーク接続されていることが大前提です。特にローカルディスク上（HTMLファイルを直接、ブラウザで開く方法）では動作しない場合があります。動作の確認を行うにはネットワーク環境（Webサーバー上）にサンプルファイルをアップロードしてください。Webサーバーについては、ローカルサーバーでも構いませんが、CDNを利用してjQueryライブラリなどを読み込んでいるためインターネットに接続されている必要があります。

III サンプルページについて

サンプルをダウンロードする以外にも、筆者のWebサイトで、本書に掲載しているプラグインのサムネールと実際に動作するサンプルページを用意してあります。ブラウザで次のURLのページを表示してください。

● 掲載プラグイン一覧

URL <http://www.openspc2.org/book/jqplugin/>



各プラグインのサムネールをクリックすると、そのプラグインの動作を確認することができます。サムネールの下のURLは、各プラグインのページへのリンクになっています。

CHAPTER 01 jQueryプラグインの概要

001	jQueryとjQueryプラグインについて	16
002	プラグインを使用するにあたっての注意事項	18
003	動作しないプラグインの対処方法	20
	COLUMN ■ jQuery互換ライブラリに対応させるには	
	COLUMN ■ jQueryプラグインの作り方について	

CHAPTER 02 色／カラー

004	カラーピッカーを表示する	24
	ONEPOINT ■ カラーピッカーを表示するプラグイン「ColorPicker」	
005	固定色のカラーピッカーを表示する	27
	ONEPOINT ■ 決められた色から選択するプラグイン「iColor Picker」	
006	色相環のカラーピッカーを表示する	29
	ONEPOINT ■ 色相環を利用して色を選択するプラグイン「Farbtastic Color Picker」	
007	グラデーションカラーを選択する	32
	ONEPOINT ■ グラデーションを選択するプラグイン「GRADX」	
008	シンプルなカラーピッカーで特定の色を選択する	36
	ONEPOINT ■ 特定の色を選択するプラグイン「Really Simple Color Picker」	
009	シンプルなカラーピッカーで特定色や任意の色を選択する	39
	ONEPOINT ■ シンプルで多彩なカラーピッカー 「Simple Best jQuery Color Picker」	
010	カラーピッカーで特定の色を選択する	42
	ONEPOINT ■ カラーピッカーで特定の色を選択するプラグイン 「Jquery small color picker」	
011	スウォッチカラーを表示する	45
	ONEPOINT ■ スウォッチカラーを表示するプラグイン「jQuery Swatches」	

CHAPTER 03 地図

012	Googleマップを表示する①	48
	ONEPOINT ■ Googleマップを表示するプラグイン「initmap.js」	
013	Googleマップを表示する②	51
	ONEPOINT ■ 手軽にGoogleマップを表示するプラグイン「jQuery Google Maps」	
014	指定した住所の地図を表示する	55
	ONEPOINT ■ ジオコーディングを利用した地図を表示するプラグイン 「jquery.gmap3」	

□ 15	地図を1枚の画像として表示する	59
	ONEPOINT ■ スタティックマップを手軽に扱うプラグイン「Static-google-Maps」	
□ 16	SVGを使った地図を表示する	62
	ONEPOINT ■ SVGを使って地図を表示するプラグイン「jQuery Mapael」	
□ 17	スタイルを指定して地図を表示する	68
	ONEPOINT ■ Googleマップを独自のスタイルで表示するプラグイン「Maplace」	
□ 18	世界地図を表示する	72
	ONEPOINT ■ 世界地図を表示するプラグイン「jQuery Vector Maps」	
□ 19	日本地図を表示する	76
	ONEPOINT ■ 日本地図を表示するプラグイン「Japan Map」	

CHAPTER 04 通知／フォーム

□ 20	簡単に通知を表示する	82
	ONEPOINT ■ 簡単な通知メッセージを表示するプラグイン「Easy Notification」	
□ 21	アイコン付きで通知を表示する	85
	ONEPOINT ■ アイコン付き通知メッセージを表示するプラグイン「jNotifier」	
□ 22	オーバーレイ付きで通知を表示する	88
	ONEPOINT ■ オーバーレイ付き通知メッセージ表示するプラグイン「jNotify」	
□ 23	Android OSのような通知を表示する	91
	ONEPOINT ■ Android OSのような通知メッセージを表示するプラグイン「jquery-toastmessage」	
□ 24	通知を表示する	94
	ONEPOINT ■ 通知を表示するプラグイン「Messenger」	
□ 25	画面上部のバーに通知を表示する	97
	ONEPOINT ■ バーにメッセージを表示するプラグイン「Notify Bar」	
□ 26	位置を指定して通知を表示する	100
	ONEPOINT ■ 通知の位置を指定できるプラグイン「noty」	
□ 27	フォームの要素にヒントを表示する	103
	ONEPOINT ■ ヒント情報を表示するプラグイン「jQuery formHelp」	
□ 28	日付と時刻をまとめて選択する	105
	ONEPOINT ■ 日付と時刻をまとめて選択するプラグイン「jquery.filtthypillow」	
□ 29	入力文字数をリアルタイムに表示する	108
	ONEPOINT ■ 入力可能な文字数をリアルタイムに表示するプラグイン「jQuery Max Length」	
□ 30	セレクトメニューを装飾する	110
	ONEPOINT ■ セレクトメニューを装飾するプラグイン「jQuery Selectric」	
□ 31	統一されたフォームUIを設定する	113
	ONEPOINT ■ フォームUIを統一するプラグイン「Formplate」	

CHAPTER 05 画像

032	2枚の画像を比較表示する①	116
	ONEPOINT ■ 2枚の画像 (Before/After) を同時比較するプラグイン 「Twenty Twenty」	
033	2枚の画像を比較表示する②	119
	ONEPOINT ■ 2枚の画像を比較するプラグイン「covering-Bad」	
034	エフェクト付きでホバー効果を施す	122
	ONEPOINT ■ エフェクト付きでホバー効果を施すプラグイン「Adipoli」	
035	ズームエフェクト付きで画像を表示／非表示にする	125
	ONEPOINT ■ エフェクト付きトグル表示をするプラグイン「betterToggle」	
036	指定したサイズに収まるように画像を切り抜く	127
	ONEPOINT ■ 画像を指定したサイズに合わせるプラグイン「Cropping Images」	
037	画像をひし形にして配置する	129
	ONEPOINT ■ 画像をひし形にして表示／配置するプラグイン「diamonds」	
038	マウスオーバーで画像をズーム表示する	132
	ONEPOINT ■ マウスオーバーで画像を拡大するプラグイン「EasyZoom」	
039	画像をコンテナサイズに合わせて表示する	135
	ONEPOINT ■ 画像をコンテナサイズに合わせるプラグイン「imgLiquid」	
040	画像を要素全体に配置する	137
	ONEPOINT ■ 画像を要素にフィットさせるプラグイン「Wallpaper」	
041	線を描きながら画像を選択する	140
	ONEPOINT ■ 画像をなぞるようにして選択することができるプラグイン「Wrangle」	
042	画像をポップアップ表示する	144
	ONEPOINT ■ Lightbox風に画像をポップアップ表示するプラグイン「Facebox」	
043	画像を拡大表示する	147
	ONEPOINT ■ 画像を拡大表示するプラグイン「Fancyzoom」	
044	サムネールクリックで大きな画像を表示する	150
	ONEPOINT ■ サムネールクリックで大きな画像を表示するプラグイン「least.js」	
045	クリックされたら大きな画像を表示する	154
	ONEPOINT ■ サムネールクリックで実画像を表示するプラグイン「Magnific Popup」	
046	コンテナサイズに応じて画像を表示する	156
	ONEPOINT ■ 異なる画像サイズに対応するプラグイン「jQuery Picture」	
047	コンテナサイズに応じてクリックブルマップの座標を調整する	159
	ONEPOINT ■ 画像サイズの変更に応じて座標を自動調整するプラグイン 「RWD Image Maps」	
048	高解像度ディスプレイに対応した画像を表示する①	162
	ONEPOINT ■ 高解像度ディスプレイに対応するプラグイン「Dense.js」	
049	高解像度ディスプレイに対応した画像を表示する②	164
	ONEPOINT ■ 高解像度ディスプレイに対応するプラグイン「imgRetina」	

- 50 高解像度ディスプレイに対応した画像を表示する③…………… 167
 ONEPOINT ■高解像度ディスプレイに対応するプラグイン「jQuery Retina」
- 51 水面に波紋を広げる効果を施す…………… 170
 ONEPOINT ■波紋・水面効果を施すプラグイン「jQuery Ripples」

CHAPTER 06 全画面表示／スライドショー

- 52 フルスクリーンでスライド表示する…………… 174
 ONEPOINT ■フルスクリーンでスライド表示するプラグイン「Backstretch」
- 53 フルスクリーンで表示する…………… 177
 ONEPOINT ■画像をフルスクリーンで表示するプラグイン「Fullscreen Background」
- 54 フルスクリーンでスライドショーを行う①…………… 180
 ONEPOINT ■フルスクリーンでスライドショーを行うプラグイン「MaxImage」
- 55 フルスクリーンでスライドショーを行う②…………… 183
 ONEPOINT ■フルスクリーンでスライドショーを行うプラグイン「Supersized」
- 56 ブラインドのように画像をスライド表示する…………… 187
 ONEPOINT ■ブラインド風に表示するプラグイン「Blindify」
- 57 画像を自動的にスライド表示する…………… 191
 ONEPOINT ■画像をスライド表示するプラグイン「blueimp Gallery」
- 58 スマートフォンでも利用できるスワイプ可能なスライドショーを行う… 195
 ONEPOINT ■スマートフォンでも利用可能なスライドショーを行うプラグイン「bxslider」
- 59 グループ単位でのスライド表示を行う…………… 198
 ONEPOINT ■グループごとにまとめてスライド表示するプラグイン「Colorbox」
- 60 詳細な設定ができるスライドショーを行う…………… 202
 ONEPOINT ■詳細な設定ができるスライドショーを行うプラグイン「Fancybox2」
- 61 さまざまな形式で画像をスライドさせる…………… 206
 ONEPOINT ■さまざまな表示形式が用意されているスライダー「FlexSlider」
- 62 ドラッグ／タッチ操作でスライドさせる…………… 210
 ONEPOINT ■タッチ操作でスマートフォンにも対応するプラグイン「Fotorama」
- 63 要素の幅に合わせてスライド表示する…………… 213
 ONEPOINT ■要素幅に合わせてスライドを表示するプラグイン「Full Width Image Slider」
- 64 スライドショーのサムネールをタイル状に配置する…………… 216
 ONEPOINT ■サムネールをタイル状に配置できるプラグイン「Galereya」
- 65 サムネール付きでスライドショーを行う…………… 220
 ONEPOINT ■多機能なスライドショーを行うプラグイン「Galleria」

066	jQuery Mobile対応のスライド表示を行う	224
	ONEPOINT ■ jQuery Mobile対応スライド表示プラグイン「ImageFlip」	
067	画像の下に背景画像を重ねつつ画像を自動的にスライド表示する	227
	ONEPOINT ■ 背景画像付きで画像をスライドさせるプラグイン「Immersive Slider」	
068	画像をスムーズにスライドさせる(カルーセル)	231
	ONEPOINT ■ カルーセル処理のためのプラグイン「jCarousel」	
069	カスタムマスクを使ったスライド表示を行う	234
	ONEPOINT ■ レスポンシブデザインにも対応してカスタムマスクも使用可能なプラグイン「Juicy Slider」	
070	スクリプトなしでスライド表示する	238
	ONEPOINT ■ スクリプトなしでスライド表示を行うプラグイン「Lightbox 2」	
071	各種テーマを指定してスライドショーを行う	240
	ONEPOINT ■ テーマを指定できるスライドショープラグイン「Nivo Slider」	
072	CSS3アニメーションを使って画像をスライド表示する	244
	ONEPOINT ■ CSS3アニメーションによるスライドショーを行うプラグイン「Photo Stack」	
073	動きがかったいいスライドショーを行う	247
	ONEPOINT ■ CSS3を使ったスライドショーを行うプラグイン「Photobox」	
074	写真をツイートすることもできるスライドショーを行う	251
	ONEPOINT ■ スライド画像をツイートできるプラグイン「prettyPhoto」	
075	レスポンシブデザインに対応したスライド表示を行う	255
	ONEPOINT ■ レスポンシブデザインにも対応するプラグイン「Slippry」	
076	縦方向にスライド表示する	258
	ONEPOINT ■ さまざまな機能を持つプラグイン「Sly」	
077	スムーズに画像を横スクロールさせる	262
	ONEPOINT ■ スムーズな横スクロールでスライドするプラグイン「Smooth Div Scroll」	
078	サムネールを表示したまま画像を表示する	265
	ONEPOINT ■ サムネール画像を表示したまま画像を拡大して表示するプラグイン「SuperBox」	
079	背景をスライド表示にする	269
	ONEPOINT ■ 背景画像でスライドショーを行うプラグイン「Vegas Background」	
080	ズーム処理とギャラリー表示を行う	273
	ONEPOINT ■ 画像のズームとギャラリー表示を行うプラグイン「Zoombox」	

CHAPTER 07 ページ

081	見出しをナビゲーション化する	278
	ONEPOINT ■ ナビゲーション化するプラグイン「Anchorific.js」	

082	スクロールに応じて位置を調整する	282
	ONEPOINT ■ スクロール時にスタイルを変更して位置を固定するプラグイン「Auto Fix Anything」	
083	大きな脚注を表示する	285
	ONEPOINT ■ 脚注を表示するプラグイン「Bigfoot」	
084	段落を折りたたむ／展開する	287
	ONEPOINT ■ 段落を折りたたむ／展開するプラグイン「jQuery More」	
085	見出しをナビゲーション化してサイドメニューにする	290
	ONEPOINT ■ ナビゲーションを自動生成してサイドメニューにするプラグイン「Jump To」	
086	ページをスライド表示する	295
	ONEPOINT ■ ページをスライド表示するプラグイン「Liquid Slider 2」	
087	ビューポート内に入ったら要素を表示する	298
	ONEPOINT ■ ビューポート範囲内／外による処理を行うプラグイン「onScreen」	
088	要素を紙のように折りたたむ	301
	ONEPOINT ■ 要素を折りたたむプラグイン「OriDomi」	
089	ページトップに移動するボタンやリンクを自動的に表示する	304
	ONEPOINT ■ ページトップに戻る機能を追加するプラグイン「ScrollUp」	
090	ブロックごとにページ分割して表示する	307
	ONEPOINT ■ ブロックごとにページ分割して表示するプラグイン「simplePgination.js」	
091	スクロール量に合わせてCSSを変化させる	311
	ONEPOINT ■ スクロール量に応じてCSSを変化させるプラグイン「skrollr」	
092	ページをスムーズにスクロールさせる	314
	ONEPOINT ■ スクリプトなしでページをスムーズにスクロールさせるプラグイン「smoothScroll」	
093	可変的にグリッドレイアウトを行う	317
	ONEPOINT ■ 可変的にグリッドレイアウトを行うプラグイン「vgrid」	

CHAPTER 08 テキスト

094	文字を曲線状に配置する	324
	ONEPOINT ■ 文字を曲線状や円に沿って配置するプラグイン「Circle Type」	
095	文字を要素サイズに合わせて調整する	327
	ONEPOINT ■ 文字をサイズに合わせて調整するプラグイン「FitText」	
096	リアルタイムに入力フォーマットを制限する	330
	ONEPOINT ■ リアルタイムに入力フォーマットを制限するプラグイン「formatter.js」	
097	文字をランダムにスライドする	332
	ONEPOINT ■ 文字をスライドアニメーションするプラグイン「funnyText.js」	

098	テキスト内のURLを自動リンクする	334
	ONEPOINT ■ httpなどで始まる文字列をURLとして自動リンクするプラグイン「Linkify」	
099	文字の一部を黒塗りで表示する	336
	ONEPOINT ■ 文字を黒塗りで表示するプラグイン「jQuery Monta-method」	
	COLUMN ■ Zepto.jsで動作させるには	
100	文字を要素サイズに合わせて調整する	338
	ONEPOINT ■ 文字をサイズに合わせて調整するプラグイン「Responsive Text」	
101	数字を液晶風に7セグメント文字として表示する	341
	ONEPOINT ■ 数値を液晶風の7セグメント文字として表示するプラグイン「sevenSeg.js」	
102	文字のモーションエフェクトを指定する	344
	ONEPOINT ■ 表示されるときや消えるときに動きを指定するプラグイン「Textillate.js」	
103	文字の入力(タイプ)エフェクトを指定する	348
	ONEPOINT ■ 文字の入力を再現再現するプラグイン「t.js」	
104	文字のカーニング(文字詰め)を行う	350
	ONEPOINT ■ 文字間の空きを調整するプラグイン「jQuery.Kerning.js」	
	COLUMN ■ グラフライブラリ	

CHAPTER 09 メニュー

105	巨大メニューを表示する	354
	ONEPOINT ■ Adobe社が提供しているメニュープラグイン「Accessible Mega Menu」	
106	コンテキストメニューを表示する	358
	ONEPOINT ■ コンテキストメニューの処理を行うプラグイン「jQuery contextMenu」	
107	円形状にメニューを表示する	362
	ONEPOINT ■ 円形状にメニュー項目を配置するプラグイン「Ferro Menu」	
108	ドロワーメニューを表示する	365
	ONEPOINT ■ ドロワーメニューを表示するプラグイン「mmenu」	
109	多階層ドロワーメニューを表示する	368
	ONEPOINT ■ 多階層ドロワーメニューを表示するプラグイン「Multi-Level Push Menu」	
110	スライドしてメニューを表示する	372
	ONEPOINT ■ スライド型のサイドメニューを表示するプラグイン「Sidr」	
111	スクロールに合わせてメニューの位置を固定する	374
	ONEPOINT ■ スクロールに合わせてメニューの位置を固定するプラグイン「SMINT」	
112	メニューの位置を固定する	378
	ONEPOINT ■ メニューを固定するプラグイン「stickUp」	

CHAPTER 10 その他

1 1 3	画像をキューブ(立方体)状に回転させる	382
	ONEPOINT ■ 画像をキューブ(立方体)状に回転させて表示するプラグイン「Image Cube」	
1 1 4	画像をミニチュア写真風に表示する	385
	ONEPOINT ■ ミニチュア写真風に表示するプラグイン「tiltShift」	
1 1 5	画像を必要に応じて後から読み込み表示する	387
	ONEPOINT ■ 画像の遅延読み込みを行うプラグイン「jQuery Lazy Load」	
1 1 6	画像を必要に応じて後から読み込み表示する (高解像度ディスプレイ対応)	390
	ONEPOINT ■ 高解像度ディスプレイ対応の遅延読み込みを行うプラグイン「Unveil」	
1 1 7	ダイヤル操作で値を変更する	393
	ONEPOINT ■ ダイヤルで操作するプラグイン「jQuery Knob」	
1 1 8	表をレスポンス対応にする	396
	ONEPOINT ■ 表をレスポンス対応にするプラグイン「ReStable」	
1 1 9	表を数値に応じて装飾する	399
	ONEPOINT ■ 表内の数値に応じて装飾するプラグイン「jQuery Table ColorScale」	
1 2 0	YouTubeの映像を背景動画として表示する	404
	ONEPOINT ■ 背景を動画にするプラグイン「mb.YTPlayer」	
1 2 1	映像表示処理をバックグラウンドで行う	407
	ONEPOINT ■ 映像表示処理をバックグラウンドで行うプラグイン「Video Background」	
1 2 2	バックグラウンドでYouTubeの映像を全画面で再生する	409
	ONEPOINT ■ 全画面でYouTubeの動画を再生するプラグイン「jQuery tubular」	
1 2 3	Cookie(クッキー)の読み書きを行う	411
	ONEPOINT ■ Cookieの処理を行うプラグイン「jquery.cookie」	
1 2 4	QRコードを生成する	414
	ONEPOINT ■ QRコードを生成するプラグイン「jQuery.qrcode」	
	COLUMN ■ QRコードについて	
1 2 5	グラフを描画する	417
	ONEPOINT ■ さまざまなグラフを描画できる「jqPlot」	
	●索引	420

CHAPTER 01

jQueryプラグイン の概要

jQueryとjQueryプラグインについて

jQueryプラグインの利用について

jQueryプラグインを動作させるには、jQueryライブラリが必要です。jQueryは多くのブラウザ／スマートフォンで使うことができるJavaScriptライブラリです。jQueryのサイトからダウンロードして使用するか、CDN（コンテンツデリバリーネットワーク）からライブラリを直接、読み込んで使用します。CDNを利用している場合はインターネットに接続されている必要があります。

```
<!-- jQueryライブラリの読み込み -->
<script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.0.3/jquery.min.js"></script>

<!-- jQueryプラグインの読み込み -->
<script src="js/colorpicker.js"></script>
```

jQueryライブラリのサイトは、次のURLになります。

- jQueryライブラリのページ

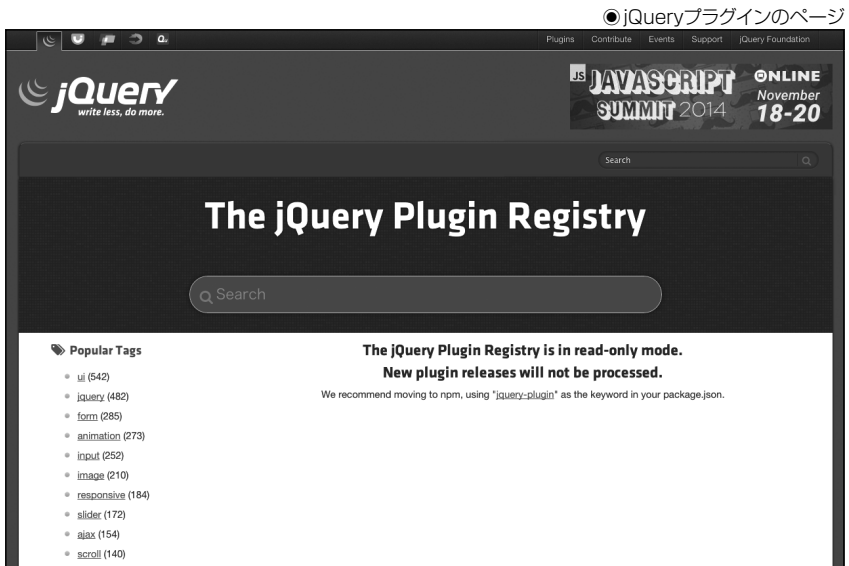
URL <http://jquery.com/>

jQueryライブラリのページ

jQueryプラグインは、次のページから探すことができます。

- jQueryプラグインのページ

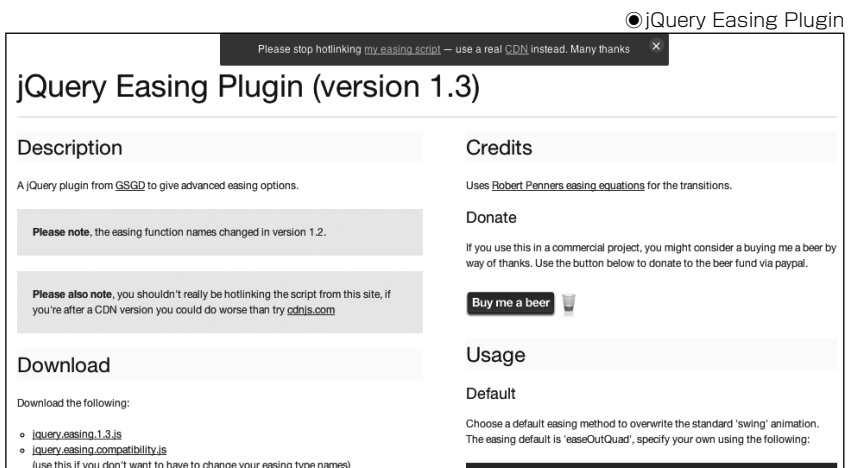
URL <http://plugins.jquery.com/>



jQueryプラグインによってはjQueryライブラリだけでなく、関連するライブラリを必要とする場合があります。特にアニメーションを行うプラグインではEasing Pluginを必要とする場合があります。必要なライブラリファイルですが、ほとんどの場合、ダウンロードするプラグインとともに収録されています。

- jQuery Easing Plugin

URL <http://gsgd.co.uk/sandbox/jquery/easing/>



プラグインを使用するにあたっての注意事項

III ライセンスについて

本書では数多くのプラグインのサンプルを掲載していますが、実際のWebサイトで使用する場合には注意しなければならないことがあります。

まず、プラグインのライセンスです。多くのプラグインでは商用利用も可能になっていますが、中には商用利用不可のものもあります。個人使用は無料でも、商用利用の場合には有料となるタイプのプラグインもあります。これらは、プラグインによって異なるため、本書に掲載してあるプラグインのページで確認してください。

III jQueryライブラリのバージョンについて

次にjQueryライブラリのバージョンです。jQueryは1.5～1.8までは仕様変更が多くあり、バージョンごとに命令が追加されたり、削除されたりしています。このため、特定の範囲のバージョンでしか動作しないプラグインもあります。特に古いイベントメソッドを使っているプラグインは、jQueryライブラリのバージョン1.9以降では動作しません。このような場合は代わりとなるプラグインを使用するか、可能であればプラグインのコードを変更する必要があります。コードを改変して使用する場合は、配布元のライセンスに注意してください。

jQueryではバージョン2.x系と1.x系があります。1.x系はIE8などの古いブラウザにも対応しており、幅広い環境で動作させたい場合は1.x系を使用します。ほとんどのjQueryプラグインは1.x系であれば問題なく動作します。

WebサイトでjQueryのバージョンが指定されており、そのバージョンが2.x系の場合はjQuery Migrate Pluginを導入することで1.x系と互換性を保つことができます。jQuery Migrate PluginはjQueryのダウンロードページからダウンロードすることができます。

● jQuery Migrate Plugin

URL <http://jquery.com/download/>

● jQuery Migrate Plugin

jQuery Migrate Plugin

We have created the [jQuery Migrate plugin](#) to simplify the transition from older versions of jQuery. The plugin restores deprecated features and behaviors so that older code will still run properly on jQuery 1.9 and later. Use the *uncompressed development* version to diagnose compatibility issues, it will generate warnings on the console that you can use to identify and fix problems. Use the *compressed production* version to simply fix compatibility issues without generating console warnings.

[Download the compressed, production jQuery Migrate 1.2.1](#)

[Download the uncompressed, development jQuery Migrate 1.2.1](#)

III スマートフォン上での動作について

多くのjQueryプラグインはパソコン向けに作成されています。このため、スマートフォン上で動作させた場合、操作に難があったり、処理が重くなってしまうことがあります。スマートフォン向けに使用する場合はプラグインがスマートフォンに対応しているかどうか確認してください。

III 互換ライブラリの使用について

jQuery互換ライブラリであるZepto.jsを使用した場合、ほとんどのプラグインは動作しません。プラグインによってはZepto.js対応を謳っているものもあります。対応についてはプラグインのページで確認してください。

III プラグインのバージョンについて

プラグインはバージョンアップによって仕様が変わってしまうことがあります。本書掲載のプラグインはバージョンを表記していますが、今後のバージョンアップによって動作しなくなる可能性もあります。また、プラグインの配布元ページがなくなってしまう、プラグインの入手ができなくなってしまうこともあります。あらかじめ、ご了承ください。

III その他

プラグインによってはローカル環境では動作しないものがあります。非同期通信(Ajax)を使っているプラグインが該当します。画像のスライドショーや遅延読み込み処理などは非同期通信を使っていることがあるため、サーバー環境で動作させる必要があります(ローカルサーバーで動作確認することはできます)。

また、本書に掲載しているサンプルはサーバー上にファイルが存在することが前提になっています。このため、サンプルをローカル環境で動作させようとした場合、正常に動作しないことがあります。

動作しないプラグインの対処方法

III プラグインが動作しない場合の対処法について

jQueryのバージョンアップにより動作しなくなるプラグインがある場合、基本的にはプラグインの制作者によるバージョンアップを待ちます。しかし、すでに作者による対応ができない場合や社内制作による古いプラグインで開発者がいなくなっている場合は困ります。そのような場合、プログラムを書き換えることで動作する可能性があります。もちろん、配布元のライセンスによっては改変できないこともありますので注意が必要です。

まず、動作しなくなったプラグインですが、動作していたjQueryライブラリのバージョンを調べます。jQueryのバージョン1.x系で動作しており、2.x系にしたら動かなくなった場合は「jQuery Migrate Plugin」を読み込ませます。つまり、次のようにHTMLファイル内に「script」要素を追加します。

```
<script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
```



```
<script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
<script src="http://code.jquery.com/jquery-migrate-1.2.1.min.js"></script>
```

これでプラグインが動作すれば終わりです。

これで解決しない場合ですが、プラグインが動作していたjQueryライブラリがバージョン1.5～1.7であれば非同期通信処理の命令を書き換えれば動作する可能性があります。1.5より後のバージョンでは非同期処理であるjQuery Deferredのメソッドが異なっています。次のバージョンに新しいメソッドと削除されたメソッドを確認できるので、対応するメソッドに書き換えます。

- Deferred Object | jQuery API Documentation

URL <http://api.jquery.com/category/deferred-object/>

● Deferred Object | jQuery API Documentation

The screenshot shows the jQuery API Documentation website. The header includes the jQuery logo with the tagline "write less, do more." and a navigation bar with links for Download, API Documentation, Blog, Plugins, and Browser Support. A search bar is also present. The main content area is titled "Category: Deferred Object" and contains two paragraphs of text explaining the Deferred object. The first paragraph states that the Deferred object, introduced in jQuery 1.5, is a chainable utility object created by calling the `jQuery.Deferred()` method. The second paragraph explains that the Deferred object is chainable, similar to a jQuery object, but has its own methods. Below the text, there is a code snippet showing `deferred.always()`.

次にjQuery 1.6まで動作していたのに1.7以降動作しなくなったプラグインの場合は、イベント関連のメソッドが原因である可能性が大了。このためプラグイン内にある「live()」メソッドを「on()」メソッドに、「die()」メソッドを「off()」メソッドに書き換えることで動作する可能性が高くなります。

- Event Handler Attachment | jQuery API Documentation

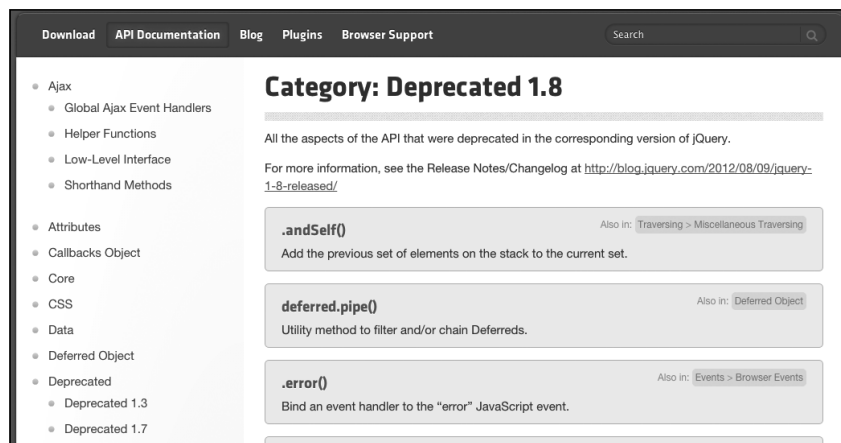
URL <http://api.jquery.com/category/events/event-handler-attachment/>

● Event Handler Attachment | jQuery API Documentation



また、jQuery 1.9以降ではクリックするたびに交互に処理を呼び出す「toggle()」メソッドが削除されています。この場合、「toggle()」メソッドの代用となるプログラムを作成するか、プログラム自体を見直した方がよいでしょう。

jQueryのバージョンで廃止された命令を確認するには、左側の「Deprecated」のカテゴリから調べたいバージョンをクリックします。メソッドの欄に「removed」の文字があれば削除されており、そのjQueryバージョンでは動作しないことを示しています。



いずれの方法でも解決しない場合は、代わりとなる、より新しいバージョンに対応したプラグインを探すのがベストです。

COLUMN

jQuery互換ライブラリに対応させるには

jQuery互換ライブラリとしてZepto.jsやApp Frameworkがありますが、ほとんどのプラグインは互換ライブラリに対応していません。また、対応させることが難しい種類のプラグインもあります。

簡単なものでも最初からエラーで動作しないことがあります。ただし、次のようにコードを追加することで一部のプラグインは動作することがあります。次のコードは、Zepto.jsなどの互換ライブラリを読み込ませた直後にHTMLファイル内に記述します。

```
<script>
jQuery = $;
</script>
```

このコードが書かれた後に、使用したいjQueryプラグインを読み込ませます。

COLUMN

jQueryプラグインの作り方について

jQueryプラグインは既存のものだけでは、要求を満たせないことがあります。そのような場合は、自分でプラグインを作成する方法も検討してみるとよいでしょう。

jQueryプラグインの作り方については、拙著『jQuery+jQuery UI+jQuery Mobile 逆引きハンドブック』(C&R研究所刊、ISBN978-4-86354-149-8)の付録を参照してください。さまざまな形態のプラグインの作成方法について解説しています。作成するプラグインの種類にもよりますが、難易度は高くありません。ぜひ、自作プラグインを作成してみてください。



CHAPTER 02

色／カラー

カラーピッカーを表示する

プラグイン名	Color Picker
プラグインのバージョン	なし
URL	http://www.eyecon.ro/colorpicker/

ここでは、カラーピッカーを表示するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>Sample</title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/colorpicker.css">
    <style>
      #mycolorpicker {
        width: 356px;
        height: 176px;
      }
      #result {
        width: 64px;
        height: 64px;
        border:1px solid black;
      }
    </style>
    <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
    <script src="js/colorpicker.js"></script>
    <script src="js/sample.js"></script>
  </head>
  <body>
    <h1>カラーピッカーを表示する</h1>
    <div id="mycolorpicker"></div>
    <div id="result"></div>
  </body>
</html>
```

SAMPLE CODE JavaScriptのコード(sample.js)

```
$(function(){
  // ページ内にカラーピッカーを埋め込む
  $("#mycolorpicker").ColorPicker({
    // カラーピッカーを埋め込む
    flat: true,
```



```
// 色が変更された場合に処理する
onChange : function(hsb, hex, rgb){
    // 選択された色を要素の背景色として設定する
    $("#result").css("background-color", "#" + hex);
}
});
});
```

カラーピッカーがページ内に埋め込まれた状態で表示されます。



カラーピッカーで色を選択すると、リアルタイムに要素の背景色が変わります。



カラーピッカーを表示するプラグインとしてはColorPickerがあります。ColorPickerはカラーピッカーを表示する要素が必要になります。表示先の要素に「ColorPicker()」メソッドを実行します。その際、ページ内に埋め込むかどうか、色が選択された場合にどうするかなどを指定します。オプションは何も指定しなくても使用することができますが、その場合は要素をクリックしないとカラーピッカーは表示されません。

ColorPickerのオプションには、下表のものが指定できます。

●指定できるオプション

オプション	説明
eventName	カラーピッカーを表示するためのイベント名。初期値は「click」
color	最初に設定しておく色。RGB形式(#rrggbb)、またはHSB形式({r:255,g:128,b:64})で指定する。初期値は赤(#ff0000)
flat	ページ内に埋め込むかどうか。「true」なら埋め込む
livePreview	リアルタイムに色をプレビュー表示するかどうか。初期値は「true」でリアルタイムに反映する
onShow	カラーピッカーが表示された後に発生するイベント。イベントハンドラを指定する
onBeforeShow	カラーピッカーが表示される前際に発生するイベント。イベントハンドラを指定する
onHide	カラーピッカーが非表示になった際に発生するイベント。イベントハンドラを指定する
onChange	カラーピッカーで値が変化した際に発生するイベント。イベントハンドラを指定する
onSubmit	カラーピッカーが選択(決定)された際に発生するイベント。イベントハンドラを指定する

固定色のカラーピッカーを表示する

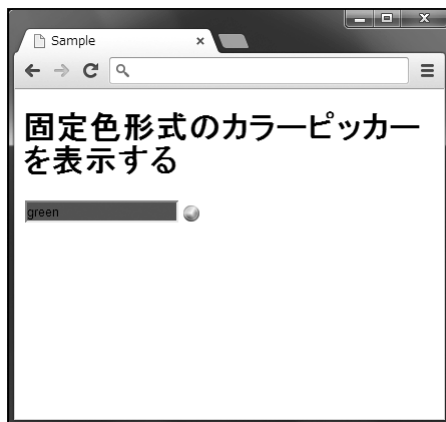
プラグイン名	iColor Picker
プラグインのバージョン	なし
URL	http://www.html5drive.net/items/show/305/iColorPicker-jQuery-plugin-The-Easiest-Color-Picker-Ever

ここでは、固定色のカラーピッカーを表示するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>Sample</title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/colorpicker.css">
    <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
    <script src="js/iColorPicker.js"></script>
  </head>
  <body>
    <h1>固定色形式のカラーピッカーを表示する</h1>
    <form>
      <input id="mycolor" type="text" value="green" class="iColorPicker">
    </form>
  </body>
</html>
```

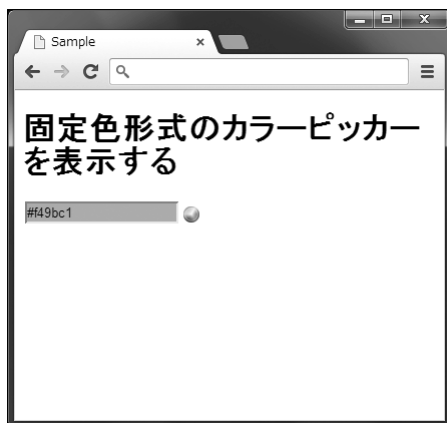
テキストフィールドの右側にカラーピッカーを表示するためのアイコンがあります。このアイコンをクリックします。



カラーピッカーが表示されます。マウスを動かして色を選択します。色の選択はクリックで行います。



クリックした色が選択されます。



ONEPOINT 決められた色から選択するプラグイン「iColor Picker」

任意の色ではなく、あらかじめ定義された色の中から選択するプラグインとしてiColor Pickerがあります。iColor Pickerはスクリプトを記述する必要はなく、ライブラリを読み込ませるだけでカラーピッカーを扱うことができます。

iColor PickerではHTMLの「input」要素に必要な属性を定義します。必要なのは「ID」属性と「class」属性です。「class」属性には「iColorPicker」を指定します。また、あらかじめ色を設定しておくには、「value」属性に色を示す文字列や16進カラーコードを設定しておきます。これでカラーピッカーのアイコンがテキストフィールドの右側に表示され、クリックするとカラーピッカーが表示されます。

色相環のカラーピッカーを表示する

プラグイン名	Farbtastic Color Picker
プラグインのバージョン	1.2
URL	http://acko.net/blog/farbtastic-jquery-color-picker-plugin/

ここでは、色相環のカラーピッカーを表示するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>Sample</title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/farbtastic.css">
    <style>
      #result {
        width: 256px;
        height: 64px;
        border: 1px solid black;
        font-size: 0.75em;
      }
    </style>
    <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
    <script src="js/farbtastic.js"></script>
    <script src="js/sample.js"></script>
  </head>
  <body>
    <h1>色相環カラーピッカー</h1>
    <form id="bg">
      <input type="text" id="color" value="#f00">
      <input type="button" value="カラー設定" id="setColor">
    </form>
    <div id="colorpicker"></div>
    <div id="result">カラーピッカーで色を選択すると選択した背景色が設定されます</div>
  </body>
</html>
```

SAMPLE CODE JavaScriptのコード(sample.js)

```
$(function(){
  // ページ内にカラーピッカーを表示する
  $("#colorpicker").farbtastic("#color");
  // カラーが変更されたらdiv要素内の背景色を変更する
  $("#setColor").click(function(){
```



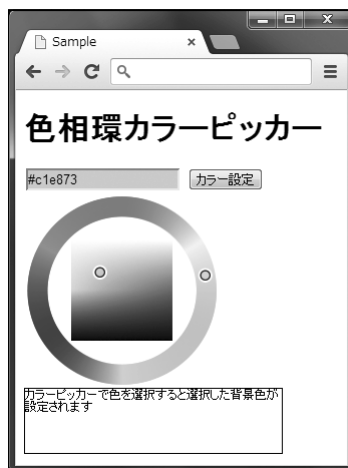
```
// 選択されたカラーを読み出す
var color = $("#color").val();

// 背景色を設定する
$("#result").css("background-color", color);
});
});
```

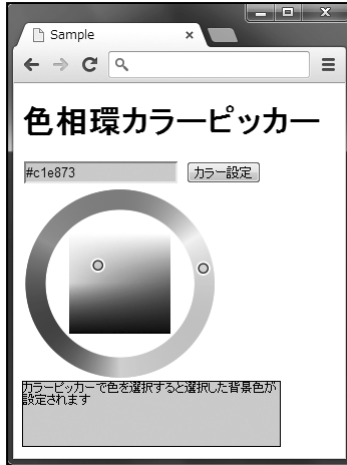
カラーピッカーがページ内に埋め込まれた状態で表示されます。



カラーピッカーでドラッグかクリックすると、色が変化します。



「カラー設定」ボタンをクリックすると、「div」要素の背景色が変化します。



ONEPOINT 色相環を利用して色を選択するプラグイン「Farbtastic Color Picker」

色相環を表示してカラーを選択するプラグインとしてはFarbtastic Color Pickerがあります。Farbtastic Color Pickerは選択された色を表示するためのテキストフィールドと、色相環を表示するための「div」要素が必要になります。「div」要素は「form」要素外にないと正しく表示されません。

HTMLの設定が終わったら色相環を表示する「div」要素に対して「farbtastic()」メソッドを呼び出します。パラメーターには選択した色を表示するテキストフィールドのID名を指定します。また、パラメーターにはID名でなく、コールバック関数を指定することもできます。

グラデーションカラーを選択する

プラグイン名	GRADX
プラグインのバージョン	なし
URL	http://codologic.com/page/gradx-jquery-javascript-gradient-selector-library

ここでは、グラデーションカラーを選択するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>Sample</title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/gradX.css">
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/colorpicker.css">
    <style>
      #result {
        width: 480px;
        height: 120px;
        border: 1px solid black;
      }
    </style>
    <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
    <script src="js/colorpicker.min.js"></script>
    <script src="js/dom-drag.js"></script>
    <script src="js/gradX.js"></script>
    <script src="js/sample.js"></script>
  </head>
  <body>
    <h1>グラデーションのカラー選択</h1>
    <div id="colorpicker"></div>
    <div id="result"></div>
  </body>
</html>
```

SAMPLE CODE JavaScriptのコード(sample.js)

```
$(function(){
  // グラデーションのカラーピッカーを表示する
  gradX("#colorpicker" , {
    // リニア(直線)のグラデーションとして設定する
    type : "linear",
    // グラデーションの初期値を設定する
    sliders: [
```



```

{ // 最初のグラデーション位置と色を設定する
  color: "rgb(255, 0, 0)",
  position: 20
},
{ // 2番目のグラデーション位置と色を設定する
  color: "rgb(255, 255, 0)",
  position: 80
}
],
change : function(stops, styles){
  // 設定されたグラデーション情報をdiv要素に反映する
  $("#result").css("background", styles[0]);
}
});
});

```

グラデーションのカラーピッカーと、その下に実際に表示されるグラデーションが表示されます。



ハンドルを左右にドラッグ操作するとグラデーションの位置が変化し、ハンドルをクリックするとグラデーションのカラーを選択できます。カラーを選択すると、リアルタイムに結果が反映されます。



「show the code」ボタンをクリックすると、CSSで使用するためのコードが表示されます。



グラデーションの形状や開始位置などを指定することもできます。



ONEPOINT グラデーションを選択するプラグイン「GRADX」

グラデーションを選択するプラグインとしてはGRADXがあります。GRADXはグラデーションカラーを表示するための「div」要素が必要になります。グラデーションカラーは、「gradX()」メソッドの最初のパラメーターに表示先の要素を指定します。

グラデーションが変更された場合は、「change」にイベントハンドラを設定しておくことで、リアルタイムにグラデーションを反映させることができます。

また、「gradX()」メソッドの2番目のパラメーターには、下表に示すオプションを指定することができます。

● 指定できるオプション

オプション	説明
type	グラデーションの形式。「linear」「circle」「ellipse」の文字を指定する
direction	グラデーションの方向。「type」が「linear」の場合は「left」「right」「top」「bottom」の文字を指定する。「type」が「circle」、または「ellipse」の場合は「left」「center」「right」のいずれかと「top」「center」「bottom」のいずれかの文字を指定する
code_shown	生成したCSSのコードを表示しておくかどうか。「true」なら表示しておく
targets	「change」イベントで更新する複数の要素を格納する配列。要素はjQueryのセレクタで指定可能なもの
sliders	グラデーションスライダーの位置と色を設定する。配列で指定して必要な数だけ列記する。グラデーションの位置は「position」、色は「color」で指定する。「color」にはカラー文字列や16進カラーコードを指定できる
change	カラーが変更されたときに呼び出すイベントハンドラを指定する。イベントハンドラにはカラーストップとグラデーションスタイル情報を格納した配列が渡される

シンプルなカラーピッカーで 特定の色を選択する

プラグイン名	Really Simple Color Picker
プラグインのバージョン	なし
URL	http://www.htmldrive.net/items/show/173/ Jquery-small-color-picker-plugin

ここでは、シンプルなカラーピッカーで特定の色を選択するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>Sample</title>
    <link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/colorPicker.css">
    <style>
      #result {
        width: 256px;
        height: 64px;
        border: 1px solid black;
        font-size: 0.75em;
      }
    </style>
    <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
    <script src="js/jquery.colorPicker.js"></script>
    <script src="js/sample.js"></script>
  </head>
  <body>
    <h1>カラーピッカーで特定の色を選択する</h1>
    <form>
      <input type="text" id="mycolorpicker" value="#ff0000">
    </form>
    <div id="result">カラーピッカーで色を選択すると選択した背景色が設定されます</div>
  </body>
</html>
```

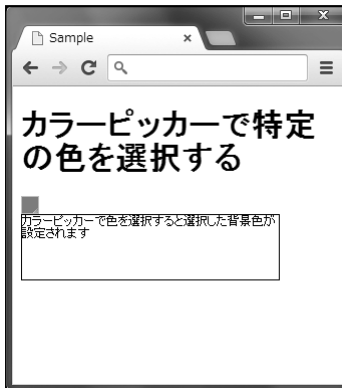
SAMPLE CODE JavaScriptのコード(sample.js)

```
$(function(){
  // カスタムカラーを追加する
  $.fn.colorPicker.addColors([
    "ee0000", "aa0000", "700", "400"
  ]);
});
```



```
// ページ内にカラーピッカーを埋め込む
$("#mycolorpicker").colorPicker();
// カラーが選択された(値が変化した)場合に背景色を設定する
$("#mycolorpicker").change(function(){
    // カラーピッカーで選択された値を読み出す
    var col = $(this).val();
    // 背景色として設定する
    $("#result").css("background-color", col);
});
});
```

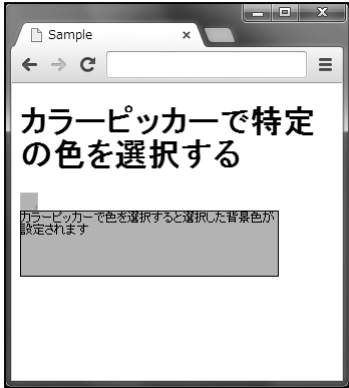
カラーピッカーで色を選択するには、カラーピッカーのアイコンをクリックします。



カラーピッカーが表示されるので、クリックして色を選択します。



四角い枠にカラーピッカーで選択した背景色が設定されます。



ONEPOINT 特定の色を選択するプラグイン「Really Simple Color Picker」

シンプルなカラーピッカーとしてはReally Simple Color Pickerがあります。Really Simple Color Pickerは決められた色に加え、独自の色を追加して表示／選択させることもできます。

Really Simple Color Pickerではカラーピッカーを表示するために「input」要素が必要になります。Really Simple Color Pickerでは、選択した色は「input」要素の「value」属性に格納されるためです。また、デフォルトの色は「input」要素の「value」属性に設定しておくことができます。

Really Simple Color Pickerは「input」要素に「colorPicker()」メソッドを実行するだけで、自動的にカラーピッカーを示すボタンが表示されます。他にも下表に示すメソッドが用意されています。

●使用可能なメソッド

メソッド	説明
addColors()	配列形式で追加表示する色を指定する
change()	色が変更されたときに呼び出すイベントハンドラを指定する
defaultColors()	デフォルトのカラーチップを配列形式で指定する

シンプルなカラーピッカーで 特定色や任意の色を選択する

プラグイン名	Simple Best jQuery Color Picker
プラグインのバージョン	なし
URL	http://www.html5drive.net/items/show/606/ Simple-Best-jQuery-Color-Picker

ここでは、シンプルなカラーピッカーで特定色や任意の色を選択するプラグインについて解説します。

SAMPLE CODE HTMLのコード(index.html)

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="utf-8">
<title>Sample</title>
<style>
.icolor td {
width: 15px;
height: 15px;
border: solid 1px #000000;
cursor:pointer;
}
.icolor table{
background-color: #FFFFFF;
border: solid 1px #ccc;
}
.icolor .icolor_tbx {
width:170px;
border-top:1px solid #999;
border-left:1px solid #ccc;
border-right:1px solid #ccc;
border-bottom:1px solid #ccc;
}
#result {
width: 256px;
height: 64px;
border:1px solid black;
font-size: 0.75em;
}
</style>
<script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/2.1.1/jquery.min.js"></script>
<script src="js/jquery.icolor.min.js"></script>
<script src="js/sample.js"></script>
```




```

</head>
<body>
  <h1>カラーピッカーで色を選択する</h1>
  <div id="iColor"></div>
  <div id="result">カラーピッカーで色を選択すると選択した背景色が設定されます</div>
</body>
</html>

```

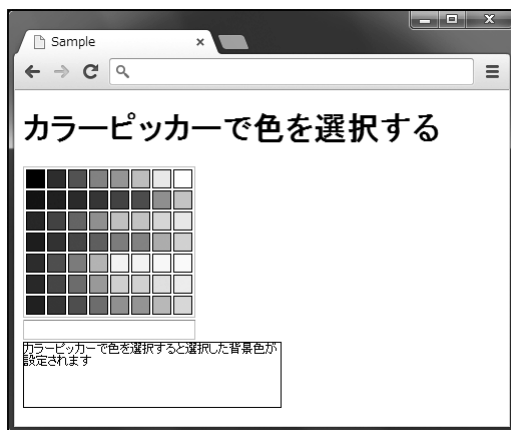
SAMPLE CODE JavaScriptのコード(sample.js)

```

$(function(){
  // カスタムカラーを追加する
  $("#iColor").icolor({
    // ページ内に埋め込んで表示する
    flat : true,
    // 任意色を指定できるようにする
    showInput : true,
    // 色が選択されたらdiv要素の背景色として設定する
    onSelect : function(color){
      $("#result").css("background-color", color);
    }
  });
});

```

マウスをカラーチップ上にのせると、テキストフィールドの背景色が変化します。



色を選択するには、カラーピッカーのアイコンをクリックします。クリックして色が選択されると、カラーピッカー下のボックスの背景色が変化します。



ONEPOINT シンプルで多彩なカラーピッカー「Simple Best jQuery Color Picker」

シンプルで多彩なカラーピッカーとしてSimple Best jQuery Color Pickerがあります。Simple Best jQuery Color Pickerは決められた色に加え、独自の色を追加したり、テキストフィールドに任意のカラーコードや色名を入力させて選択させることもできます。

Simple Best jQuery Color Pickerはカラーピッカーを表示する「div」要素を用意し、その要素に対して「icolor()」メソッドを呼び出します。呼び出す際にページ内に埋め込むかどうかなどのオプションを指定することができます。指定できるオプションを下表に示します。

●使用可能なオプション

オプション	説明
flat	ページ内に埋め込むかどうか。「true」なら埋め込む
showInput	テキストフィールドで任意色を入力可能にするかどうか。「true」で可能にする。ただし、「false」を指定するとエラーが発生することがある
title	カラーチップのタイトル
colors	表示するカラーチップを格納した配列を指定する
cl	使用するCSSの名前
okTpl	OKボタンを表示するためのHTML文字列を指定する
autoClose	自動的にカラーピッカーを自動的に閉じるかどうか
onSelect	カラーチップがクリックされたときに呼び出すイベントハンドラ。イベントハンドラには選択された色が16進コードの文字列で渡される。先頭には「#」が付加されているので、不要な場合は削除する必要がある
onShow	カラーピッカーが表示されたときに呼び出すイベントハンドラ
beforeInit	初期前に呼び出すイベントハンドラ
afterInit	初期後に呼び出すイベントハンドラ
onOver	マウスオーバー時に呼び出すイベントハンドラ
onOut	マウスアウト時に呼び出すイベントハンドラ
hover	「Hover」イベントを有効にするか(イベントハンドラを機能させるか)どうか。「true」なら有効